

## 長期透析患者における肺の転移性石灰化 (metastatic pulmonary calcification; MPC)

医療法人衆和会 長崎腎病院

○岩尾幸治 小松利恵子 佐藤修一 小嶋幸徳 高木伴幸 船越哲

### 【背景】

MPC 形成の主たる要因は、二次性副甲状腺機能亢進症による高カルシウム血症と言われている。慢性腎不全患者の 60~80% に認められるとの報告もあるが、無症候性に進行することが多く、診断される機会は少ない。

### 【目的及び方法】

当院の維持透析患者 505 名中、2021 年 6 月現在で透析歴 25 年以上の 29 名のうち、MPC と診断された患者と診断基準に満たなかった患者の P、Ca、iPTH の血清学的データ過去 2 年分を比較検証した。

### 【結果】

MPC と診断された 8 症例の平均年齢は  $66 \pm 4$  才、平均透析歴は  $29 \pm 9$  年であった。MPC の診断に満たなかった 19 症例の平均年齢  $69 \pm 5$  才、平均透析歴  $32 \pm 2$  年であった。血清学的データでは、MPC 群は、Ca 値は  $9.0 \pm 0.6 \text{mg/dL}$ 、P 値は  $5.7 \pm 0.4 \text{mg/dL}$ 、iPTH は  $87 \pm 79 \text{pg/dL}$  であった。非 MPC 群では Ca 値、 $9.0 \pm 0.3 \text{mg/dL}$ 、P 値は  $5.7 \pm 0.2 \text{mg/dL}$ 、iPTH は  $190 \pm 36 \text{pg/dL}$  と有意に高かった。加えて、MPC 群では PTX が 8 例中 4 例に施行されており、iPTH の変動が大きい傾向にあった。両群間で calcimimetics やビタミン D など、治療関連の有意な差はなかった。

### 【考察】

今回の検証では MPC と診断された群では iPTH のみ有意な低値がみられた。また、iPTH の変動が大きいことより、急激な骨代謝の変化が発症に影響しているのかもしれない。